



# カプセル内視鏡の生産に向けて



原寸大

## 回転しながら360度くまなく撮影

小腸・大腸の内面を2重構造のカプセルが回転しながら  
約78万枚もの画像を撮影、それを繋ぎ合わせ  
広～い長～い「体内マップ」を生成します

体内マップの上を自由自在に散歩

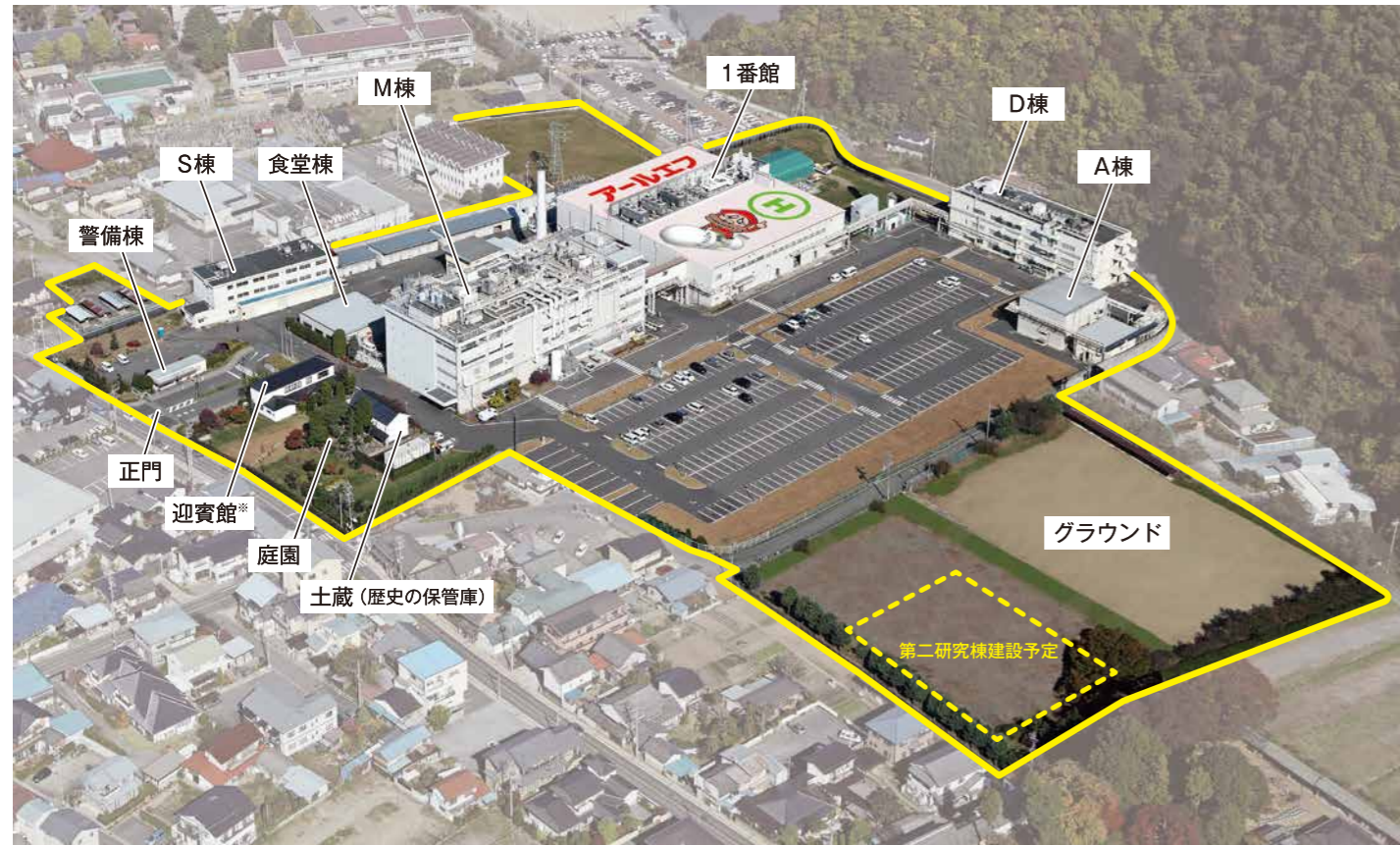
また

2年ごとに撮影したマップを重ね合わせ  
わずかでも変化している箇所のマーキングも可能です

Lab Town Suzaka  
アールエフシステム研究所

## アールエフ

2017年3月、富士通須坂工場をアールエフが取得。大規模改装工事の後、順次公開予定。



**\*迎賓館**  
明治13年に田中製糸の迎賓館として建築されました。大正9年戦後恐慌の後、大正11年片倉製糸と合併。昭和17年富士通が取得、平成29年3月アールエフ取得に至る。(須坂市博物館所蔵から)

迎賓館



米国連邦規格クラス100 (1番館)

**クリーンルーム**  
クリーンルームとは、ミクロン単位の特殊フィルターを使用して、空気中の粉塵・埃・細菌を除去、温度・湿度を調整した部屋。1立方メートルの空気中に含まれる0.5μm以上の粒子の数により、クラスが決まります。一般的にクラス1000は高信頼部品、クラス100は結晶精製・医薬品等の製造レベル。



グラウンドからM棟



米国連邦規格クラス1000 (M棟)

# 富士通須坂工場を取得 長野市のアールエフが生産拠点に



アールエフが取得した富士通須坂工場

医療・産業用機器など製造・販売のアールエフ(長野市)は31日、須坂(東信)から、須坂工場(須坂市殿町)を取得した。改修するなどして、同社の「製品生産の中心拠点」とする。生産規模や操業開始時期などは未定としている。須坂工場は2015年以降、空き工場となっていた。新たな企業の進出による市内産業の活性化や雇用創出などが期待される。

同社が取得したのは、工場敷地と建物、周辺の土地(社員寮跡地、旧ランド、駐車場)など。面積は約5万4000平方メートル。外装や設備の改修工事などを行う。事業拡大を図るため、取材に「須坂市にはさまざまな分野の企業が揃っている」と話した。アールエフは1998年設立。上田市出身の創業者・丸山次郎氏が社長を務める。医療・工業用X線CT装置や、各種内視鏡、カメラなどの開発・製造・販売を手がけている。医療用機器に強みを持つ。国内に事業所(工場)・店舗を約20カ所置いている。信用調査会社・帝国データバンクによると2016年5月期の売上高は約120億円。

須坂工場は、2015年まで、太陽誘電モバイルテクノロジーが賃借して操業していたが、移転して以降、空いたままで、懸案となっていた。

須坂工場敷地で行っている地下水のPCB(ポリ塩化ビフェニール)の調査を含めた環境対策も、須坂から引き続き実施していくという。

同社は本紙の29日の取材に「須坂市にはさまざまな分野の企業があるので、支援、協力をいただきたい」と話した。三木正夫市長は「県や須坂にも努力してもらい、新たな企業が誘致できるといい」と話した。

市内には少ない医療分野の会社で、雇用や税収の面からもありがたい」と話した。



ご愛読ありがとうございます  
週刊・土曜日発行・購読料月930円 (1部売の240円)  
発行所 須坂新聞株式会社 2017年  
〒382-0057 須坂市殿町1591-8  
TEL:026-243-5329 FAX:026-246-9876  
発行人 北沢 正

アールエフシステム研究所  
NY Lab. (NY分室)  
Times Square 43階



## カプセル内視鏡構造図



原寸大

